



事業・決算を審議する評議委員会

岡本馨（議長）、田口金治郎（副議長）、若菜八郎、伊藤勇、斎藤好行、坂田美弥次、中村四郎、小松田誠一、鈴木賢治の評議員の皆さんが出席。

監査委員の岡本輝さん、執行部からは、斎藤会長をはじめ、各町内会長、委員長が出席。会長が53年度の事業概要を報告、ついで、新倉（総務）、杉井（会計）、鈴木（環境整備）、小野（消防）がそれぞれ所管の事項を説明した。審議の中では、「香川の歩み」の発行経費のうち積立金からの流用分、借入金

等に対する方策について意見が出たが、残部をなるべく早くきづくことで解決するという了解を得て、事業、決算報告とも承認されました。また、会費の月50円増額の審議は、去る一月の評議員に引きつづくものであり、この案件もより実のある自治会活動を期待するということで承認を得ました。

市や町でいうと議会にあたる評議員会が三月二十八日に自治会館で開かれ、53年度の事業、決算と会費の増額の承認を受けました。

評議員会で承認

53年度の事業・決算

第 50 号

編集発行
香川自治会
広報委員会
中央タイプ印刷

皆さんにお願い

会費の増額で

この四月から、会費を五十円
増額し、月二百円（法人は四百

長（町内会長）春山 進（第一）
配島高雄（第二）伊藤治専
（第三）、渡辺昌信（第四）
▽総務委員長 新倉 清 ▽環境
境整備委員長 鈴木 晟 ▽会員
計委員長 杉井真一 ▽文化厚生
委員長 小泉裕明 ▽広報委員長
員長 渡利升秋 ▽町内会長（町内会長は副会長兼務）

五十四年度の役員がつきのと
おり決定しました。

新役員が決定

町内會長 第一春山、第二配島の両氏

また、グリーブ、サークル活動の拠点として、広く使用されている自治会館。この運営は、独立採算を前提に自治会の一般事業と分けて特別会計にしていますが、この会計へ一般会計から二十七万円も援助しています。このほか、消防団活動、文化、スポーツの事業、道路の側溝、ゴミ問題などの環境整備、さらには、中学校設置促進や相模線

改善問題など、どうしても自治会という住民の組織でやらないできないものなどが多くなっています。

執行部では、より充実した自治会活動をめざしています。今回の会費増額について、みなさんのご理解とご協力をお願いする次第です。

皆さんにお願い
会費の増額で
この四月から、会費を五十円
増額し、月二百円（法人は四百
円）とするよう、評議員会の承
認を得ました。前回の会費の値
上げは五年前の昭和十五年五十
円上つて百五十円になつたとき
です。執行部でもつねに経費の
抑制につとめていますが、人口
住宅の増加が激しい香川地区で
は、自治会の事業も多くならざ
るを得ません。一例をあげます
と、別表（会計報告書）で、支
出の多いのは、防犯灯関係の八
十二万円（一部市からの補助あ
り）です。地区内の道路を会員
の協力で、明るく安全にする防
犯灯事業は、自治会活動の目だ
ます。この防犯灯は住宅の増
加で増えればかりでです。五十三
年度も三十四灯の新設、建て替

昭和53年度会計報告書

収入の部			
目	決算額(円)	摘要	要
会員会費	157,928	前年度繰越金	
会員会費	3,525,150	53年4月1,916世帯	
補助金	7,580,00	300×12×14 社、東邦チタニウム 他	
受取利息	1,013,487	運営交付金 149,000-、広報紙配付手数料 168,000-、防犯灯修理補助金 464,447-	
又 収入	54,3876	追善供養18件 40,300-、盆おどり 117,000- 預金利子	
計	17,205	受取り電話料	
貰却引当金	5,333,446		
	478,919	450,000- 香川のあゆみへ一時流用	
支出の部			
目	決算額	摘要	要
会議費	293,390	町内会議費 116,300-、自治会会議費 167,090-、会館使用料 10,000-	
耗品費	282,234	印刷用紙及び原紙、事務用品、消耗品	
交通費	24,6040	旅費規定による役員旅費	
言論費	53,945	電話料	
会員費	227,425	交際費、町内慶弔費31件 119,000-	
手当費	750,000	25,000×15×2名 伝達員及び書記	
会員費	9,5637		
記念品	141,700	記念品 90,000- 他	
光熱費	582,746	東電支払分	
修理費	240,250	池田電器、山田電機支払分 101件 他	
委員会費	187,000	盆おどり 132,880-、菊まつり、駅前清掃、映画会	
会員会費	207,000	香川ニュース発行費 5回分	
委員会費	160,000	床下消毒、安全対策、ゴミ処理調査費 他	
会員費	28,500	災害活動費、防火訓練費 他	
あゆみ立	9,9620	編集活動費 他	
学習費	50,000	会議費、交通費 他	
会計支出金	275,004	自治会館特別会計へ	
協賛費	60,000	赤十字 200,000-、共同募金 250,000-、年末助け合い 150,000-	
助成金	20,000	体育大会へ(10周年)	
助成金	150,000	子供会 50,000-、寿クラブ 10,000×5、婦人会 30,000-、青年会 20,000-	
計	51,269,919	(繰越金 206,455)	

自治会館特別会計	
部	
使 用 料	503,500 各種団体使用料
り 使 用 料	10,000 自治会使用料
又 入 金	0
計 緑 入 金	275,040 一般会計より
計	788,504
部	
委 費	22,000 運営委員会会議費
光 熱 費	106,304 電気料及び水道料
事 務 費	11,160 茶、トイレ用紙 他
手 当	60,000 管理人 $40,000 \times 1.5$
品 費	18,540 ポット5ヶ、ワゴン他
器 費	1,000 0
備 費	15,000
費	5,500 正月用お供飾り松
計	788,504

ことしの事業計画と予算案は組長、会長を通じ、会員の要望や意見を把握、それらを反映させて作成し、五月中旬に評議員会の承認を得て決定する予定です。

本年度の事業・予算

佐々木芳明 熊沢信行 ▽文化厚生局
△会計 実子子 ▽環境整備 鈴木晟 三橋一郎
川区会計 小沢良一 熊沢静子 ▽地政課
△評議員 板橋弘 渡辺幸吉
今岡久幸 小松田誠

その機語彙と其の会話

香川ニュースの創刊は、昭和四十五年五月。その時の地区の世帯数千四百。四十四年には地区団地が、同じ頃、鶴ヶ台団地ができるなど、香川にも都市化の余波が寄せはじめた頃です。住宅、人口の増加は、生活環境をはじめ、多くの問題を発生させ、また、新しい市民を迎える香川地区も、自治会も大きな転換期にありました。

その転換期に香川ニュースは創刊当時の広報委員長であつた埋金一郎さんは「会員に自治云活動の様子を広報することはもちろん、住民同士のコミュニケーション、とくに先住者と新しい人たちとの融和をはかる必要がある」と発行の必要性を唱げられます。紙面には、生活環境整備についての市へ陳情、その後の経過などとともに、読まれるようになると、会員の俳句、短歌が

わが町のミニコミ、香川ニュースが50号を迎えました。ニュースの発行は、自治会の大切な事業の一つです。いうならば会員の皆さんに育てられてきたわけです。今後ともよろしくお願いします。

香川ニュース50号に 会員の参加でより充実へ



サークル活動紹介(3) 幅広い活動めざす（第一町内 体育会）

走友会 日曜の早朝マラソン

サークル活動の紹介の三回目。香川にもいろいろな活動が行なわれています。春です。日曜の早朝マラソンでも、いつしょにいかがですか。健康な毎日にするために……。

第一町内体育会

ユニークな活動

香川走友会が発足



三月一日、「香川走友会」が発足しました。毎週日曜日の朝、話をしながら楽しく走っています。会員は四十一名（男二六名、女十五名）で女子のほとんどは初心者で、コーセーの話を聞きながら少しずつ身体を慣らしています。又、ベテランのグループは各々の体力に応じたペースで走り、これからは月に一度、記録会を開く予定です。無理をせず誰でも気軽に参加ができる会です。さあ、いっしょに走りましょう！練習日：毎週日曜日朝七時より集合場所：松風台第一公園。連絡先：比留川（51）-1578-65大八保（11）-1-44

この推進のために、小室喜さんを中心いて、体育会を結成し、ソフトボールのほか、歩行大会や体操の企画に当ることになり、すでにソフトボールでは女子チーム（今福江キャブテン）、男子チーム（天野安啓キャブテン）が誕生、練習に励んでいます。なお、これら活動の経費は、毎月、家庭の不用品を、役員の奉仕により回収、この売却代金でまかなうという、ユニークな面ももっています。町内ぐるみで協力し合い、楽しく体力づくりを展開する体育会のこれから活動を期待したいと思います。

南湖高校（仮称）の設置

茅ヶ崎市内への県立高校の設置については、かねてから市民団体、自治会、P.T.Aなどにより署名請願がつづけられてきましたが、本年度の県予算も審議する県議会において、仮称南湖高校の建設が確定しました。来年四月開校予定で、第一年度の建築予算是六億六千万円。ご協力ありがとうございました。

にベスト4に進出するという実力を発揮。その準決勝は、去る三月二十一日市営球場で西浜シールズを相手に行なわれたが惜しくも敗れました。野球シーズン開幕、ことしの健闘を期待しましよう。なお、この大会の優勝は、市消防署チームでした。

市社会人大会で球友会

てくれます。はさみとピンセットをさえあれば、どなたでも、楽しくことが出来ます。

野球愛好家による香川球友会
会は三年前に発足。以来、グラ
ンド難などの悪条件を克服し、
着実に成果をあげてきました。

なかでもCチームは、全員女子で編成、男子顔負けの敢闘に対し、惜しみない拍手が送られた。香川地区の参加メンバーはつぎのとおり。

A（佐藤辰雄、舟子忠明、益子原幸雄、榎本篤、平川秋男）B（桜井勝、茂木正徳、松本美広、渡辺三郎、沓沢寿太郎）C（小野覚、福キミエ、浅岡マキ子、越本通子、阿部泰子）

体育振興会では、来年の大会をめざして、現役はもちろん、新人とくに中学卒業以上の若人の練習への参加を望んでいる。

なお、連絡は⑤一六四一の大久保さんへ。

編集後記

香川ニユース五十号をお届けします。評議員会の結果を掲載したため、大分遅れてしまいまして。サークル活動の紹介については、もと詳細な、ながい原稿をいただきましたが、紙面の都合で、割愛せざるを得ませんでいたしました。ご了承下さい。なお、本号をもって、五十三年度の広報委員の務めは終ることになります。ご協力に心から感謝します。(柏倉、川村、多田関野)